



今月の一句詠む読む

俳句・川柳の投稿はカフェの投稿箱、もしくはEメール info@npo-tomoni.com へ。

詠み人解説

上と下の表示を見ずに、上へ行きたいのに下へ。下へ行きたいのに上へ。

エレベーター
上と下を
まちがえる
エレベーターくん(小三)

詠み人解説

どうしても買って欲しいものがあつたので、厳しい母に頼んだら通用した嬉しさを句にしました。

おかあさん
おねだりつうじた
うれしいな
てっさくん(小三)

詠み人解説

千歳市で春に開業するラピダスの工場。次世代半導体が北海道に人を呼び込む架け橋になってます。

道内に
人を導く
半導体
デジタルウォッチャー

詠み人解説

子どもたちに未来をたくした私の気持ちと期待の心と夢を

園児達
大きく育て
この町で
K・Y

詠み人解説

残雪中
春探しで見つけたよ

ネコヤナギ
雪の中にも
春知らせ
山菜採りのおばさん

精神科医 土田正一郎の



その98 入院大原則

入院治療しか方法がないと考えた時に恐る恐る入院して治療することを提案するくらいがちょうどよい。大概みんな嫌がるが、病との戦いに疲れ果てた人や家族の疲弊に気付いている人は同意してくれることがある。この優しい同意はそれ自体が治療的である。同意が得られない入院はそれ自体が暴力的なので、侵襲的過ぎてまた一つ大きな傷を作ることになる。その結果予後はさらに悪くなる。そういうものだ。

各事業報告～3月19日現在

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

契約/B型22人 体験者2人

グループホーム
よろこび

利用者数 21人 空室1室

K.S.C. Juntos

当事者選手 9人
サポートスタッフ 2人

◆法人会員 正会員18人
賛助会員 団体6団体 個人47人

◆今年度寄付金 のべ57件 4,083,200円

◆寄付物品 牛乳パック たらこ

編集後記



「今月の一句詠む読む」に読者の方からかわいい川柳をいただきました。ありがとうございます。その方は小学3年生で言葉遊びが好きだということです。川柳も書きためているそうなので、またお待ちしています。読者のみなさまもお気軽にお寄せください。たくさんの投稿でこのコーナーを充実させましょう。私は時の話題で毎月一句掲載を目指します。(かわさき)

通信 とともに

第118号

2025年3月26日発行
認定NPO法人とともに

住所 〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1
でんわ (0136) 55-5828
FAX (0136) 55-5829
Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com>

ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

今月の一枚



3月19日撮影

春初め
冠雪でお化粧
羊蹄山

認定NPO 2度目の更新～令和11年度まで

平成26年10月に札幌以外では北海道内10番目の認定NPO法人として認定され、2度目の更新が無事終わりました。認定期間は令和11(2029)年の10月までです。

昨年はわっくわく祭りやともにカップへの協賛金でたくさんの方にご寄付をいただきました。寄付していただいたみなさまに改めて感謝申し上げます。認定NPO法人にふさわしい地域貢献の活動をこれからも続けてまいります。どうぞよろしくお願いたします。



認定NPO法人とは？

- ・国や都道府県から「公益性が特に高い」と認定
- ・札幌市を除く北海道では当法人を含め16団体(道環境生活部くらし安全局道民生活課のHPより)
- ・寄付された方は所得税や住民税の控除が受けられる

当法人に寄付をされると…

- ①個人の場合
確定申告で最大50%の税額控除を受けられます
(寄付金額-2,000円)×40%=減税額
- ②企業など法人の場合
損金(経費)算入できる額が増えます
- ③相続を受けた方がその財産を寄付された場合
相続財産を寄付した分は非課税になります

異業種との交流を伝える～理事長講演



しりべし圏域総合支援センター
安田亜子さまからのメール

2月28日倶知安町保健福祉社会館で開催された後志圏域地域生活移行支援協議会。小林理事長が「地域づくりにおいて異業種の方々と繋がり生まれるもの」と題して、中小企業家同友会の例会や福祉関係以外の業種との交流で感じた数々のエピソードが話されました。「地域の企業の方々が真剣に障害者雇用に取り組んでいる部会は目からうろこでした。福祉の私たちが地域で普段のお付き合いをしなくては」と熱く語りました。

出席したピアサポーターや福祉関係者からの質問で話が盛り上がる場面も。後日事務局の安田亜子センター長から素敵なメールをいただきました。感謝の気持ちを込めて一部ご紹介させていただきます。



先日の協議会では、大変お忙しいなか、講師をお引き受け頂き本当にありがとうございました。

小林理事長のお話を伺い、福祉の企業の代表の一人として、また、福祉専門職の一人として、自覚を持ち、立ち振る舞う姿とはどういうことかということ、改めて考えさせられました。

また、異業種の方と知り合い学び合うことに、ワクワクするような期待感があることや、目の前に次々起こる様々な困難も、実は見方を替えれば、知らないことを知るチャンスで宝物なんだということを、再認識、再自覚させて頂きました。

等身大の自分を、心に秘めているビジョンを大事に、改めて、頑張っていきたいと思えます。

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

大豆販売始まる

農業部で昨年秋に収穫した豆の販売が始まっています。「黒千石大豆」と「黄大豆」の2種類で、肥料を一切使わず、製品化するまで手作業で丁寧に仕上げました。

「食ベチョク ワークショップようてい農業部」でご注文いただけるほか、コミュニティカフェわくわくでも販売しています。今回収穫量は平年並みとなっていますが数に限りがありますので、お早めにお買い求めください。

長い冬が終わりを迎え、畑の雪は少しずつ解けています。来月から農作物の作業が本格的に始まります。



自然栽培 北海道産 黄大豆 5kg 令和6年度産	送料がお得 自然栽培 北海道産 黄大豆 500g 令和6年度産	自然栽培 北海道産 黄大豆 500g 令和6年度産	自然栽培 北海道産 黄大豆 1kg 令和6年度産
約5kg 箱 ¥5,900	約500g 箱 ¥720	約500g 箱 ¥720	約1kg 箱 ¥1,300
北海道倶知安町 農業部 ワークショップ...	北海道倶知安町 農業部 ワークショップ...	北海道倶知安町 農業部 ワークショップ...	北海道倶知安町 農業部 ワークショップ...

自然栽培 北海道産 黒千石大豆 1kg 令和6年度産	自然栽培 北海道産 黒千石大豆 500g 令和6年度産	送料がお得 自然栽培 北海道産 黒千石大豆 500g 令和6年度産	【自然栽培 固定種】令和6年度 北海道倶知安町産 長かぼちゃ 2.0...
約1kg 箱 ¥1,300	約500g 箱 ¥720	約500g 箱 ¥720	約2.0kg 箱 ¥1,300
北海道倶知安町 農業部 ワークショップ...	北海道倶知安町 農業部 ワークショップ...	北海道倶知安町 農業部 ワークショップ...	北海道倶知安町 農業部 ワークショップ...

スマートフォンやパソコンからアクセスしてお買い求めください。

シリーズ 気候変動 私たちができること

③最終回 生活を見直す

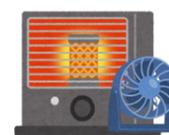
今回は5つの実践の題名で私たちができることを大まかにご紹介しました。最終回となる今回は、より実践的にできることを紹介していきます。

エコ=がまん ではない

東京大学未来ビジョン研究センターの江守正多教授によると、日本ではエコ=がまんをする、というイメージが強いが、海外ではエコ=生活の質を上げる、と捉えられているそうです。

第1段階 がまんしないエコを実践

「がまんしないエコ」ができるものをいくつか紹介します。



冬のストーブを「エコモード」に(名前は種類で異なります)。サーキュレーターで隅まであたたか。



外国産ではなく地元産の商品を買う。エコで安心、そのうえ地元へ貢献できる。



冷蔵庫の設定温度を上げるか強さの段階を下げて。開閉も短時間。物も詰めすぎない。



不用品はオークションサイトやリサイクルショップで売る。相手は安価で買え、自分は小銭を稼げる。



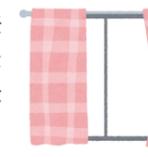
ふんわりアクセル&ブレーキを。ガソリン削減になる上に、同乗者も安心。



適切な冷房の使用。倶知安町では役場や風土館、一部スーパーなどにある「クーリングシェルター」の活用を。



無洗米を使ってみる。米を研ぐ手間が省けるだけでなく、とぎ汁がほとんど出ないので水質の改善にも。



日中厚手のカーテンを閉める。冬季は室内の保温に、夏季は日射熱をシャットアウト。



夏場、風呂の残り水や洗たくのすすぎ水を打ち水に使う。体感温度が1.5度下がるそう。

第2段階 買い替えの検討を



ハードルは高いですが、家電や自動車、住宅設備などの買い替えも有効です。家電は10年前の商品に比べて消費電力がかなり減っていますし、自動車はハイブリッドやEV(電気自動車)にすることで大幅なエコが期待できます。住宅は断熱住宅、エコキュート(大気中の熱を活用した空調と給湯)、太陽光発電システムなどです。初期投資がかかりますが長い目でエコとコストダウンにつながります。

そして…多様性を尊重し、社会を変える

哲学者の斎藤幸平氏は『人新世の「資本論」』の中で、土や水、日光など本来人類が共通して持つべきものを「コモン(=共通資本)」とし、一部の人が寡占している「資本主義」から脱却することが、地球温暖化対策の大きな力だといいます。それには一人の力だけでは解決できません。多様な考え方を尊重したうえで協力し合ってアクションを起こしていくことが大切でしょう。

バタフライエフェクトという言葉で以前編集後記で紹介しました。わたしたちのちょっとした勇気がやがて世間や世界を変えることができるのではないかと、3回の連載を執筆して思いました。

(文、編集：かわさき)

参考文献・ウェブサイト

『SDGs なぜなにクイズ図鑑』 笹谷秀光監修 宝島社 2021

『地球温暖化のウソ? ホント? (5) 温暖化を止めるために「我慢しなくていい」って、本当?』 ウェザーニュースのウェブサイト <https://weathernews.jp/s/topics/202403/220135/>

